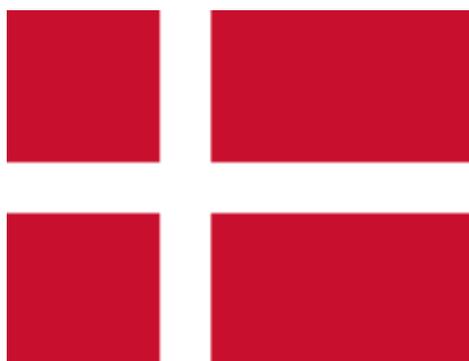
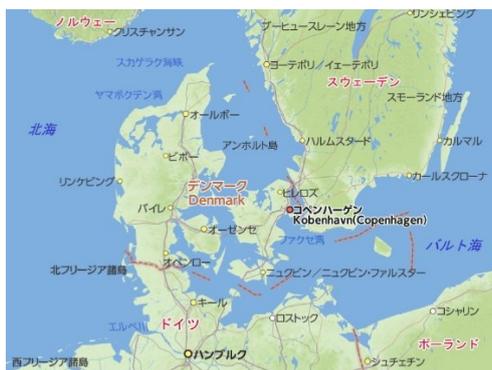


皆様 お元気ですか ドイツのコロナ陽性者が 54 万人となり、これは 100 万人を超えた日本に次いで世界第二位だそうです。なんか真面目に統計取っている国だけ順位が上がってしまう感じがするのはわたしだけでしょうか？満を持してドイツ訪問した旅行者の中でも帰国の為のコロナテストで陽性となって、4 日間の隔離滞在をせざるを得ない方も珍しくありません。客が陽性との連絡を受けたホテルはその客の隔離滞在を引き受ける義務があるので陽性でも滞在場所探しには困りません。

デンマークに出掛ける機会がありました。私自身 20 年振りの訪問なので改めてどんな国だったか調べ直してみました。で、今日はデンマークに関するご報告をいたします。



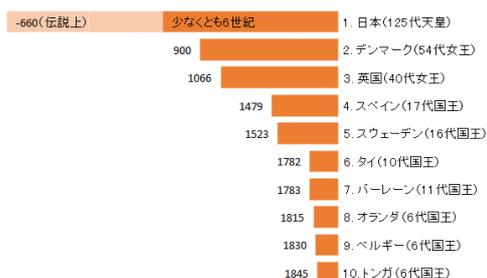
ドイツは周囲 9 か国と国境を接しています。デンマークとはユトランド半島の基部で接しています。国境の話の後ほど少し詳しくご報告いたします。

面積は 42921 km²、九州が 36782 km²なのでデンマークの方が少し大きいのですが、人口は 587 万人で九州 7 県の合計 1426 万人の 4 割程度です。人口動態は+0.3%とわずかながら増加傾向にあります。デンマークを始めとする北欧 4 か国はいずれも 1000 万人以下の人口で、歴史上のかなり早い段階から女性の社会進出が盛んです。というより国家の維持発展には必要不可欠だったと言えます。その為、家事や育児、その他のインフラや社会制度の整備が進み、結果として福祉大国として発展している訳です。一例をあげると市議会など自治体の議会は夜開かれます。日本でいえばマンション自治会のような感じです。政治家が職業として成立するのは県、州など広域自治体レベルになってからです。福祉制度などを北欧に学べとする主張がありますが、人口が 8000 万人や 1.2 億人のドイツや日本とは根本的な違いがあることを理解するべきだと思います。

国家政体は立憲君主制です。正式国名はデンマーク王国、現在の君主はマルガレーテ二世です。デンマーク王室は日本の皇室に次ぐ世界第二位の歴史を誇ります。国民の 74%がプロテスタントであり、英国同様、マルガレーテ二世がデンマークプロテスタント教会において最高位にあります。

世界の王室：歴史の長さランキング

起元年から2018年までの王室の長さ(数字は西暦の起元年)



(資料)池野範男・久保哲朗監修「世界なんでもランキング図鑑」2019年



首都は人口 65 万人のコペンハーゲンです。松田聖子さんの曲の一節に“白夜のコペンハーゲン”と唄われているのですがこれは間違いです。白夜となるのは北緯 66.7 度以上の北極圏だけです。コペンハーゲンは北緯 55.7 度なので、真夜中でも夕暮れのような不思議な感じにはなりますが陽はとにかく沈みます。樺太の真ん中あたりが北緯 50 度なのでいかに北に位置するか判ります。それでも最高気温は 8 月 20℃、最低気温は 1 月 - 3℃なので欧州はその高緯度にも関わらず温かいといえます。

通貨はデンマーククローネ (DKK) といいます。現状 100DKK が約 13.4 ユーロですが、ユーロとの変動幅は上下 2.25%以内となるよう政策的に維持されています。今後もユーロ導入はしないと宣誓しています。

デンマークの歴史と言えばバイキングですが、中世前半、欧州各地に遠征して元祖海賊として征服と略奪を繰り返したイメージがありますが、実態は武装しているものの、冒険心に満ちた行動的な商人といったものだったようです。従って欧州各地に移民したケースも多くみられ、中世イタリアにあったランゴバルト王国はそんなバイキングの子孫が建てた王国と言われます。今日もイタリアにブロンド美人が多いのは遥か昔の北欧民族の DNA が受け継がれた証拠という説もあります。

第二次大戦では中立を宣言したデンマークですが、ノルウェーを攻めるドイツによって占領されてしまいます。武力を背景にしない中立が存在できない歴史上の証明となってしまいました。ドイツが同じく南の小国スイスの中立を侵犯しなかったのは山岳地帯を巧みに利用して国家全体が要塞化されていたからでした。その教訓からデンマークは戦後 NATO に創設から参加しています。EU 加盟は 1974 年からです。酪農を中心とした農業国のイメージがありますが、北海油田の開発以降エネルギー輸出国に転じています。また近年同じく北海で風力発電の建設を進めています。2019 年風力で 47%の電力を賄っています。オイルショック前 95%のエネルギーを輸入していたとは信じられません。デンマークの風力発電設備メーカー、ヴェスタス社は世界最王手です。コンテナ船の海運会社 MAESK も世界第一位です。デンマークの会社であることはあまり知られていないかもしれません。コンテナヤードに行けば MAESK の青いロゴ入りコンテナが日本にもたくさん来ています。

近世までドイツとデンマークは国境沿いの領土を巡って戦争を繰り返していました。国境沿いのシュレーヴィッヒ公国は 1866 年 - 1920 年のちにドイツとなるプロイセンに属していましたが住民投票により南北に分かれそれぞれデンマークとドイツに帰属し今日に至っています。南北それぞれの国境を越えた地区にもデンマーク人、ドイツ人が住んでいてそれぞれの国の少数民族としての権利を保障されています。さらに両国の少数民族自治団体はお互いに連携して、ドイツ国会に議席を持つほどに認知され尊重されています。



- ① デンマーク同君連合の南限
- ② 1864年以前の南限
- ③ 1920年からの国境（現在）
- ④ 1920年までの北限
- ⑤ 1864年までの北限



今回私が訪問したデンマーク人はドイツ語が話せてドイツが好きな方でした。伺ったところ母上様が上記のように生まれた時はドイツ人だったが国境の変遷でデンマーク人になったとのお話と上記の国境の歴史を話して頂きました。

過去、軍事強国として歴史的に知られているプロイセンが交渉によって領土紛争を解決していた例があったことは意外でした。

先人達のすばらしい知恵と歴史を知って、ウクライナ戦争を考えずにはいられません。ロシアはクリミア半島まで含めてすべて撤退し、戦後はウクライナに住むロシア系住民の権利をウクライナ政府も尊重して自治を行なう。そんな平和的な解決ができるといいのですが。長期化するウクライナ戦争が早く終結することを今日も願っています。私の好きなバラード曲の一節です。

Throw down the Sword, the fight was done and over, neither lost neither won.
 剣を捨てよう 戦いは終わった 勝者も敗者もない

いかがでしたか、このレポートを読んでデンマークに行きたくなりましたでしょうか？
 そんな読者さんがいらっしゃれば大変嬉しいです。

